

情報知識学会・第 31 回(2023 年度)年次大会 企画シンポジウム 開催概要

2023年5月

文責：合同会社AMANE 堀井 洋

タイトル：「未来にむけた地域図書館の新たな役割と展望
～多様な担い手たちによる地域歴史文化継承を目指して～」

日時：2023年5月20日（土）14時～17時

場所：石川県立図書館（石川県金沢市小立野2丁目43-1）だんだん広場
参加無料・一般市民にも開放 オンライン配信あり

登壇者：

田村俊作・池畑木綿子（石川県立図書館）
澤谷晃子（大阪市立中央図書館）
堀井美里・堀井 洋（合同会社AMANE）
原嶋亮輔（root design office）
福島幸宏（慶應義塾大学）

司会：小川歩美（合同会社AMANE）

開催趣旨：

近年、社会状況の急速な変化や自然災害の頻発などにより、地域の歴史文化継承の意義や実現があらためて問われている。

地域には多種多様・有形無形の文化資源が現存し、それらを収集・記録・蓄積・整理・公開・活用することが学術分野のみならず社会全体において求められてきた。しかしながら、少子高齢化による専門人材不足への対応や観光・デジタルコンテンツなど新たな活用分野の創出など、今後も継続的に地域の歴史文化継承を実現するためには、従来の枠組みを越えた新たな概念の確立や体制の構築が必要となることは明らかである。

本企画シンポジウムでは、地域の歴史文化継承において図書館が果たすべき役割、多様な担い手たちとの連携など目指すべき将来のカタチについて、石川県内外の事例をもとに議論を実施する。これまでの図書館の概念にとらわれない、未来にむけた地域図書館の新たな役割と展望について、参加者全員で考えたい。

プログラム構成：

1. 趣旨・企画説明：堀井 洋 （合同会社AMANE）

2. 基調講演：

田村俊作 （石川県立図書館 館長）
「石川県立図書館の概要と地域歴史文化継承」

3. 事例報告：

池畑木綿子 （石川県立図書館）
「石川県立図書館における、地域資源の収集・共有・活用」

堀井美里 （合同会社AMANE）
「“使える” 地域資料ができるまで
～地域資料のデジタルアーカイブ化までの道のり～」

澤谷晃子 （大阪市立中央図書館）
「地域資料の利活用と図書館の役割～大阪市立図書館の事例紹介～」

原嶋亮輔 （root design office）
「地域資料のデザイン戦略 ～工芸図案活用のプロダクト開発事例～」

4. パネルディスカッション：

コメンテーター 福島幸宏（慶應義塾大学）
司会：小川歩美（合同会社AMANE）

5. まとめ：高田良宏（金沢大学）

参加申込方法：

○情報知識学会年次大会参加者の方は、本シンポジウムの参加申し込みは不要です。

<https://us06web.zoom.us/j/88197123617?pwd=dWVHYjJjK29kVUJQcTFQT24wMDhhdz09>

ミーティングID: 881 9712 3617

パスワード: 307026